

年 組 番
(名前)

<新聞記事から考えよう> 180823



五輪に向けバリアフリー化

◎記事から読み取ろう

○「バリアフリー」化とはどんなことですか。

○交通機関のバリアフリー化として、取り組まれていることはどんなことですか。

- ・駅では
- ・バスやタクシーでは

○具体的な目標は怎么样了か。

- ・駅や空港
- ・バス

2020年東京五輪・パラリンピックに向け、障害者や高齢者が移動や滞在がしやすいように、公共交通機関や宿泊施設のバリアフリー化が進められています。

Q 交通機関の取り組みは。

A 競技会場の最寄り駅やターミナル駅などで



新型車両や駅施設改修

五輪に向けバリアフリー化

車いすへの対応急ぐ

段差の解消やエレベーターの増設、トイレの改修を進めています。車いすスペースを増やした新型の鉄道車両や、車いすも乗り降りしやすいノンステップバスやタクシーの導入も急いでいます。

Q 具体的な目標は。

A 政府は20年度までに、1日3千人以上が利用する鉄道駅や空港などの旅客施設の段差解消率(16年度87・2%)を16年度までに車いす用客室を確保するため、客室総数が

Q 50室以上の宿泊施設を新増築する場合の設置基準を「1%以上」に引き上げる方針です。

Q 基準引き上げの効果は。

A 基準を満たさない場合の罰則もあり、一定の効果はあるとみられます。ただ、既存施設が対象外ということもあり、開幕まで2年で車いす用客室を急に増やすのは難しいかもしれません。大

Q 国際パラリンピック委員会では、東京大会で車いす利用者の客室が不足するとの懸念を表明しています。政府は五輪フリーに配慮した一般客室も活用して対応したい」と説明しています。

- ・宿泊施設

◎広げよう・深めよう

○自分の身の回りでバリアフリー化が進んでいるところ、必要なところはどこだろう。
<進んでいるところ> <必要なところ>

◎自分の考えをまとめよう

*友だちと意見交換したり、家族と話し合ったりしよう

○障がい者も高齢者もみんなと一緒に生活していくために大切なことは何だと思いますか。